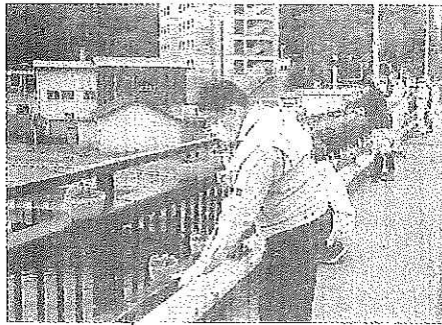


彩り鮮やかな欄干に

南建設 網走市新橋で鉢植え

【網走発】南建設㈱（網走、松木俊広社長）は26日、網走市内を走る国道39号の新橋の欄干に鉢植えの花約450鉢を設置した。松木社長をはじめ役員14人が参加。「観光振興に貢献できれば」と様々な色のパンジーで、橋をきれいに飾りつけた。



網走川に架かる新橋。無機質な橋を色鮮やかな花で飾る取組は、同社の南正明会長が発案し、ことしで17年目を迎えた。以前は網走橋にも設置。地元住民をはじめ観光客の撮影スポットとして人気も高い。功績が認められ、関係団体から表彰を受けた実績があり、道建設部の「道景観

づくりサポート企業登録制度」において、管内初の登録企業に認定。さらに、社員の家族も参加する取組であることから、道教委の「道家庭教育サポート企業

等制度」の協定も締結し、家庭教育支援にも努めている。

今回は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から参加者を縮小し役員14人が参加。作業に先立ち、松木社長は「ことしもきれいな花を咲かせてくれると思う。少しでも観光振興に貢献できれば」と述べ、新型コロナウイルス感染症予防対策としてマスクと手袋の着用、間隔を空けて作業することを呼びかけた。

用意した花は、パンジー450苗。配色にも気を配りながら、一つ一つ針金で固定した。7月には、季節の花に植え替える予定で、社員が水やりや花摘みなどの管理を担い、秋口まで、市民や観光客らの目を楽しませる。松木社長は「来年以降も継続していきたい」と話している。

網走川の新橋に プランター設置

南建設

【網走】南建設（本社、網走）は26日、地域貢献の一環で網走川に架かる新橋にプランターを設置した。写真。17年目の取り組みで、



設置した。

松木俊広社長が「安全に注意して作業を進めてほしい」とあいさつ。社員14人が参加し、新型コロナウイルス対策として隣の人と距離を取りながらパンジー450株を欄干に